



はたちの集い



祝

Takaharu town assembly report



高
原
町

議会だより



「高原町の町木」

94号



令和7年 11月臨時会(第7回) 12月定例会(第8回)

【目次】

- 20歳の青春宣言・・・・・・・・P 2
- 議会のごあいさつ・・・・・・・・P 3
- 議会のあらまし・・・・・・・・P 4～P 5
- 委員会報告・・・・・・・・P 6～P 8
- 一般質問・・・・・・・・P 9～P 12
- 議会の動き・編集後記・・・P 13
- キラリ☆たかはるびと・・・P 14

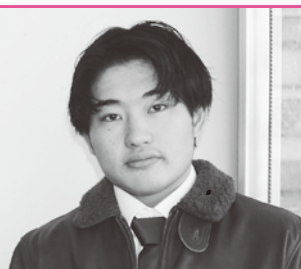


20歳の青春宣言



ミズモト サクラ
水元 桜 (高原)

看護実習で現場に出ます。
技術を身につけます。高原は
星がきれいです。



テラシ カナト
寺師 奏大 (高原)

理学療法士を目指しています。
高原は自然が豊かです。



マガタ ユイ
真方 優衣 (広原)

社会人です。仕事を頑張って
たくさん旅行をしたい。



ナガノ ソウイチロウ
永野 崇一郎 (高原)

パイロットを目指しています。
高原、すごくいきいきしてる
よね。



キュウトクティナ
久徳 姫月 (後川内)

バンクーバーで頑張っていま
す。高原の自然のまんまを残
してほしい。



ウチムラ タクム
内村 拓夢 (高原)

ITの資格をとります。高原に帰
ってくる度に、新しいお店が増え
ていて、活があります。



『これから、僕たちが高原を宮崎一の町につくりあげていきます』



カワサキ ユウヤ
川崎 結也 (狭野)

町おこしについて学んでいま
す。高原を盛り上げたい。



マツモト スズカ
松本 鈴香 (後川内)

水耕栽培の仕事をしています。
もっと頑張りたいです。



スエヤマ ショウ
末山 翔 (広原)

調理師をしています。高原で
起業したい。



ニシモト
西元 らん (広原)

看護師を目指しています。
この自然を残してほしい。



マツノ コウタ
松野 紘大 (高原)

消防士を目指しています。地
元に貢献したい。



ナカタケ メイ
中武 萌衣 (高原)

剣道、頑張っています。高原
は帰ってきたい場所です。

高原町はたちの集いで
インタビューしました。
(令和8年1月5日)



謹賀新年

2026



ごあいさつ

まえはら じゅんいち

議長 前原 淳一

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は丸山新町長が誕生し、約7ヶ月不在だった副町長も池田善明さんが着任され、新しい体制が整い動き始めました。

一方、国ではガソリンの暫定税率の廃止や、18・3兆円余りの今年度補正予算が成立し、物価高対策や地方交付金の拡充など何処まで踏み込んだものになるのか期待をされる所です。

さて、高原町では少子高齢化に歯止めがからず、現住人口は約7,700人となっています。出生数も今年は30人を下回ることも想定されるなど、少子化は急速に進んでいます。反比例するように団塊の世代が後期高齢者となるなど、高齢化率は上がる一方で、現役世代にとって負担は増え続けています。しかし、先々を憂いているばかりでは前に進まず、皆で創意工夫をしながら、新しい事業の展開をしていくなど先見性を養い、時には大きな決断をすることも求められます。

高原町議会としまして、全員が町民の代表として、多様化していく皆さんの声をしっかり受け止め、町政に反映すべく努力して参る所存ですので御理解と御協力をお願い致します。

おわりに、皆様にとって今年が希望に満ちた輝かしい年になりますようにお祈り致します。



11月 臨時会

第7回臨時会において、報告1件、承認1件、議案1件（補正予算1件）が提案され、原案どおり、承認、可決しました。

【報告】

○議決を得た契約の変更・・・・・・・・・・一般町道 祓川・旭台線の契約額増額 521万1千円

【承認】

○令和7年度高原町一般会計補正予算（第5号）・・・・・・・・・・補正額 122万6千円

※第16回全日本ホルスタイン共進会に参加するための経費

【補正予算】

○令和7年度高原町一般会計補正予算（第6号）・・・・・・・・・・補正額 868万9千円

※主なもの

- ・御池キャンプ村の人工河川の転落防止柵・・・・・・・・・・600万円
- ・上麓区の多目的防災拠点の増額分・・・・・・・・・・80万円
- ・「たかはる学園」開校記念品として 体操服（上）・・188万9千円
- ・スクールバス運行及び乗降管理システムの債務負担行為の追加
（令和8年度から3年間分）・・・・限度額 1億3,998万6千円



▲御池キャンプ村の人工河川の柵

12月 定例会

第8回定例会において、報告1件、同意4件、議案14件（条例8件、補正予算5件、その他1件）が提案され、原案どおり、同意、可決しました。請願1件は、趣旨採択となりました。

【報告】

○町道の橋梁下部にてキイロスズメバチに刺される事故の和解及び損害賠償の額を定めた件・・・・・・・・・・3名分 3万3,220円

【同意】

- 公平委員会委員の選任・・・・・・・・・・相良 績さん・福元孝一さん
- 固定資産評価審査委員会委員の選任・・・・・・・・・・内村秀次さん
- 副町長の選任・・・・・・・・・・池田善明さん

【条例改正】

※主なもの

- 教育関係の公の施設に関する条例の一部を改正する条例
- 町立学校体育館、弓道場及び町民体育館使用料条例の一部を改正する条例



▲清流ランド おもいで橋（報告案件）



後川内小、狭野小、広原小体育館が地区体育館に。

Q:

・使用料は。
・貸出方法は。



A:

・料金改定はない。
・町民体育館と同様の予約システム。

○高原町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（こども誰でも通園制度）



0歳6か月から3歳未満の未就園児が保護者の就労要件を問わず、保育園などで月一定時間まで利用できる制度。 ※月10時間まで

Q:

・どのような形で。
・いつからか。



A:

・保育施設の余裕活用型で、施設の意向を確認する。
・令和8年度から事業開始を目指す。

【その他】

○高原町過疎地域持続的発展計画の策定

【補正予算】

	補正額	予算総額
○国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	2,400万円	14億3,272万8千円
○介護保険事業特別会計補正予算（第2号）保険事業	9,002万1千円	15億3,006万6千円
介護サービス事業	221万5千円	764万8千円
○後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	144万8千円	3億2,817万9千円
○病院事業会計補正予算（第2号）		
※不採算地区病院の運営に関する経費	2,993万円	7億2,417万5千円
○高原町一般会計補正予算（第7号）	1億7,942万5千円	71億9,598万円

一般会計補正予算・決算常任委員会で審査した主なもの



総務管理費

NHK受信料 68万9千円

Q:

・詳細とこれからどうするか。

A:

・公用車のワンセグ受信機、カーナビの令和7年度分11台と過年度分。これから対策を検討する。



総務管理費

必ず気になる高原プロモーション事業委託料 480万円

Q:

・メタサービスエリアの増額経費か。
・ランニングコストはどうか。
・どこに、掲示してあるのか。
・活用状況は。

A:

・災害モードを拡充させる。
・ランニングコストはまだ発生していない。
・えびのSA・宮原SA・霧島SAに掲示開始。
・9月1日から968件のAI稼働が確認できている。



社会福祉費

神武ホールの空調機の部品交換等に係る費用 627万円

Q:

・エアコンの効きは良くなるか。
・オーバーホールはするのか。
・入れ替えは考えたのか。

A:

・改善が見込まれる。
・オーバーホール、温度点検も行う。
・新設は6,900万円以上かかる。部品供給が今年度で終了するので交換しておきたい。



小学校費

宮崎県産杉の木の購入費用 249万9千円

Q:

・いくらものなのか。

A:

・32,120円×70台（新一年生）と送料。

▲メタサービスエリアの案内ポスター（えびのSA）



小学校費

スクールバス運行に伴う校庭内歩道設置用 104万9千円

Q:

・校庭に歩道とはどういうものか。

A:

・運動場のトラックの外周にアスファルト97mの道をつくる。



児童福祉費

公立保育所職員の処遇改善に係る費用 3,033万2千円

Q:

・対象者と効果は。

A:

・職員30名分。民間との差が大きい。退職を留まってもらえた。

【請願】

○日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准することを求める請願書

・・・趣旨採択（趣旨には賛同するが政府に対し意見書の提出は行わない）と決定

採決が分かれた議案の議員別賛否一覧 令和7年第8回定例会 議決結果（内容）

議案番号	件名	議決結果	①岩元礼子	②福澤卓志	③温水宜昭	④山下香織	⑤西嶋陽代	⑥外村仁	⑦郡山貞利	⑧末永充	⑨前原淳一
議案第55号	令和7年度高原町一般会計補正予算（第7号）	可決	●	○	○	○	●	○	○	○	—
請願第1号	日本政府に核兵器禁止条約に署名・批准することを求める請願書	採趣旨	○	○	○	●	●	○	○	○	—

「○」：賛成、「●」：反対、「除」：除斥、「棄」：棄権、「欠」：欠席

1. 目 的・・・消防団の現状と課題

地域の安全を守る消防団は、住民の安心・安全な生活に不可欠な存在です。

しかし、近年、団員の減少や高齢化、活動の負担増などが課題となっています。

本調査では、消防団の現状と課題を明らかにし、今後の活性化に向けた調査を行いました。

2. 調査日、場所・・・令和7年8月19日

役場3階 議員控室

3. 調 査 先・・・総務課

4. 調査内容・・・消防団の現状と在り方について

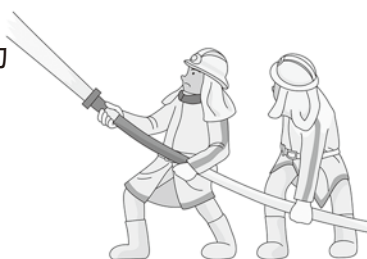


◎消防団の体制

- ・団員数：163人（令和7年8月現在）
- ・充足率は小林市・えびの市より高い水準。
- ・定数維持は大規模災害対応に必要である。

◎消防団の活動

- ・火災・災害時の消火・救助活動
- ・防災訓練・啓発活動
- ・地域イベントへの協力
- ・夜間警戒
- ・搜索活動



◎女性団員の活躍

- ・平成29年に初の女性団員入団
- ・現在9名在籍

活動内容は、夜警・広報・火災報知器設置支援・県大会や全国大会への参加。今後は高齢者支援や幼年消防クラブ連携なども視野に入れている。



◎車両更新状況

令和7年6月に第4部に、新たに新車両が配備された。

今後は第7部の車両更新が必要となっている。

◎報酬

- ・火災災害
 - 1～4時間未満・・・・・・・・4,000円
 - 4時間超・・・・・・・・8,000円
- ・訓練、警戒、その他
 - 1～4時間未満・・・・・・・・3,000円
 - 4時間超・・・・・・・・6,000円
- ・団員報酬(年額) 一般団員・52,400円
(国基準36,500円より高水準、県内上位)
- ・功労報奨金 5年以上10年未満在籍
・・・・・・・・6,000円/年
- 10年以上15年未満在籍
・・・・・・・・9,000円/年
- 15年以上在籍
・・・・・・・・12,000円/年

※西諸支部等で協議し、令和4年度から上記のように処遇改善した。

- ・支給の仕方 団員報酬(年額) → 各部へ
- 出勤報酬 → 個人支給

5. 調査のまとめ

災害対応できるよう定数が維持されており、報酬等の処遇についても改善が図られている。火災以外にも台風や断水対応、行方不明者の搜索等幅広い活動が確認された。

1. 目 的

国民健康保険制度の概要と高原町における運営状況について、現状と今後の運営について調査する。

2. 調査日、場所・・・令和7年8月7日 役場3階 議員控室

3. 調査先・・・・・・・町民課

4. 調査内容・・・・・・国民健康保険制度と高原町における運営状況について

(1) 国民健康保険制度の概要について

(2) 高原町における運営状況について

(3) 今後の運営について

5. 高原町の現況

○被保険者数

令和7年度5月1日現在、1,390世帯2,074人、全体の約55%に当たる1,142人が前期高齢者となっている。

被保険者数は年々減少し、令和2年度2,592人から518人減少しており、要因としては転出・死亡・後期高齢者医療保険への移行が挙げられる。

○1人当たり医療費

	R6年度	R5年度	R4年度	R3年度	R2年度	R元年度
高原町	502,267	495,318	466,817	465,101	438,877	426,803
県内順位	7	7	8	7	7	9
県平均	421,642	449,226	430,527	417,224	397,786	404,937
対前年比	6,949	28,501	1,716	26,224	12,074	▲6,165

○高原町における課題と引続き取り組む対応等

①保険税未納対策：税務会計課と連携した滞納者へのアプローチ

②医療費抑制対策：高齢化の進展に伴う医療費負担軽減対策

③加入者の健康促進対策：健康教育の周知、各種健（検）診受診率向上

6. 質 問（抜粋）

【問】 必要のない受診や処方箋を受ける方が見受けられる。薬局でジェネリック推進やおくすり手帳の作成、残薬チェックを適宜やっているようだが、町としてどう取り組むのか。

【答】 事業としては健康課になるが、100歳体操などの際にお知らせしたりチラシを配ったりしている。今後も連携して取り組んでいく。

【問】 今年度から支払いが9期になり1回あたりの金額が高くなり納付が苦しくなっているが、10期や11期にするなど、負担感を減らす手立てを考えていただけないか。

【答】 4月から翌年の3月の12ヶ月間で年度が決まっており、法的な納期を延ばすことはできないが、困っている方について、悪質でない限りは滞納という形にはなるが翌年の4月や5月まで納付を待つなど柔軟な対応をしているのが現状である。

7. まとめ

高原町は県内でも医療費が高く令和6年度は26市町村中7番目となっており医療費抑制のため町民の健康増進をさらに図っていく必要がある。

また保険税の未納や滞納は年々減ってきてはいるが令和6年度末時点での滞納繰越を含めた滞納金が35,765,369円、収納率が83.84%となっているため、収納率改善に向けた取り組みを引続き行い、公平な制度運営を行う必要がある。

議会の在り方検討特別委員会 行政調査報告書

令和7年8月18日、五ヶ瀬町議会と高鍋町議会において、議員定数削減や特別委員会における予算・決算審査等について行政調査を実施しましたので、概要を報告します。

五ヶ瀬町議会

現住人口 2,912人（令和7年4月1日時点） 議員定数9人

○定数削減の経緯と定数削減後の議会運営について

- ・平成17年に行政改革の一環として14名から10名に削減、平成25年には住民からの陳情があり、継続審査を経て全会一致で10名から9名に削減。
- ・定数が減になったこともあり、議員のいない地区があるが、議員全員でカバーしている。
- ・議会報告会として出前授業や町内の全世帯を議員2人一組で巡回している。

○特別委員会における予算、決算の審査等について

- ・9名となり、これまで常任委員会で審査してきた予算・決算を、全議員が参加する特別委員会で行っている。

メリット

- すべての会計を全議員が審査することで、財政状況を把握し、質疑に参加できる。
- 議員間の情報格差がなくなり、議会全体として審査機能の向上につながる。

デメリット

- 全議員が参加するため、審査にかかる日数が長くなる。



高鍋町議会

現住人口 18,901人（令和7年4月1日時点） 議員定数14人

○特別委員会による予算・決算審査について

- ・平成30年に議員定数を16名から14名に削減し、3つの常任委員会を2つに再編し、全議員で構成する特別委員会で予算・決算の審査を行うようになった。当初は予算と決算の両方を審査していたが、現在は決算のみを特別委員会で行い、予算は常任委員会が担当している。

メリット

- 委員会が分かれている場合に生じる、他委員会の内容が分かりにくいという問題が解消される。

デメリット

- 多くの議員が関わるため、特定の事業を深く掘り下げて議論することが難しくなる。
- 委員長報告（報告書作成・本会議報告）が非常に長くなる。
- 過去には、委員長報告に対する質疑も多く、会議が長時間に及ぶこともあったが、現在は事前通告制の導入などで改善された。



まとめ

両議会ともに、議員全員による特別委員会における予算・決算審査を行っており、審査の質に影響しないような議会運営がなされていた。高原町議会はこれを踏まえ、議会の在り方については、慎重に進めていく。

新町長の思いは



にしじま はるよ
西嶋 陽代議員



(一般質問の様子)

●平和問題

問 終戦80年、被爆80年への思いは。取り組みは。

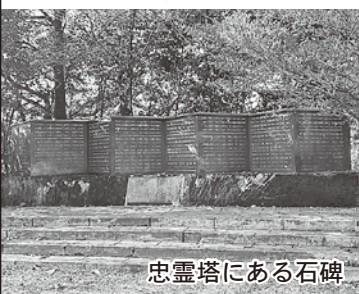
答 戦争は最大の人権侵害であると認識している。核兵器を使用した戦争の惨禍は二度とあってはならない。80年だからといって、特別何かをする予定はない。戦没者合同慰霊祭を行っており、継続して行っていくことが大事。

問 「たかはる学園」で平和学習は。広原地区で機銃掃射の犠牲になられた方もいる。

答 修学旅行で平和学習を行っている。なので新たな事業は検討していない。

問 戦没者合同慰霊祭に、児童・生徒を招いては。

答 保護者の意向、児童・生徒の自主性を尊重したい。



忠霊塔にある石碑

●排外主義

問 多文化共生社会を目指すという認識は。

答 外国人等との共生社会を構築していく事は、今後の本町および国全体にとって大変重要な課題。多様な価値観や文化を共有しながら住みやすい街づくりを進める。

問 町内の外国人の数とルーツ・職業は。

答 11月25日時点で、89名・11か国。永住や技能実習。

問 外国人の増加で治安は悪化しているか。

答 治安が悪化したとは考えていない。

問 外国人は生活保護を受けやすいというの事実と言えないと思うが。

答 事実とは言えないと考える。

●子育て支援

問 校内教育センターの設置は。

答 「ひむか学級」を継続しながら、高原小の相談室や、高原中のしし教室などを候補としている。次年度以降、なるべく早期の設置を図る。

町民に分かりやすく！



やました かおり
山下 香織議員



(一般質問の様子)

●ふるさと納税

問 寄附金の総額だけでなく、返礼品費用や手数料を差し引いた「実際に町が使える額」を分かりやすく公表すべきではないか。

答 今後、使途について具体性をもつて広く公表していく。

(意見) 寄附者が選んだ使い道や活用状況を丁寧に伝え、信頼向上と再寄附につながる必要性を提起。

・地域商社を活用し、実績が伸びているからこそ、仕組みの透明性向上を求めた。

●観光施策

問 心のバリアフリー認定を町が率先して取得し、民間申請を支援する仕組みづくりは出来ないか。

答 バリアフリーの情報を発信する事は大切。適宜、検討していく。

問 日本発祥の地・高原町の魅力を生かし、神話をテーマにしたアートイベント開催への挑戦は出来ないか。

答 調査・研究を進めていく。

●妊産婦支援

問 県補助終了を見据え、国の補助事業に対する条件緩和の要望は。

答 要望したことはない。

●命の授業

問 畜産の町として、動物の命に向き合う教育や愛護センターの活用は出来ないか。

答 学校の授業を実施する判断は校長になるので、教育委員会としては児童生徒の課題意識や学習意欲などに応じて、よりよい授業が実施出来るように、情報提供をしていく。

●森林・安全対策

問 御池遊歩道について、都城市と連携した広域整備を要望出来ないか。

答 必要に応じて都城市と情報共有をお願いしていく。

問 危険木を町が把握し、所有者へ知らせる仕組みづくりで地域の安全確保が必要では。

答 危険な木等があったら役場に相談してほしい。役場の方から所有者へ注意喚起をしていく。



「働き方と経費削減は、DX推進がカギ」



ふくざわ たくじ
福澤 卓志議員



(一般質問の様子)

●DX推進計画

問 DX推進の進捗状況は。

答 令和5年7月より6項目について取り組んでおり、行政サービス等の向上や業務の効率化を目指して取り組んでいる。

問 行政手続きのオンライン化の状況は。

答 マイナポータルを活用し、マイナンバーカードで29種類の手続きが可能。

問 マイナンバーカードの取得状況及び未取得者は。

答 再発行を含み8,963件発行済。未取得者は令和7年11月27日現在で、約742名で約91%の方が取得済。

問 公共施設の予約システム活用状況は。

答 令和7年4月スタートから10月末までで約9か所の施設を合計で約1,600件。

●ペーパーレス対応

問 直近2か年分の印刷費や紙の消費枚数は。

答 令和5年度約1,313万円・76万枚、令和6年度約1,440万円・94万枚（印刷機リース・インク・紙含む）。

問 印刷物削減に向けた取組が出来るのか。

答 内部資料の場合は、両面印刷や裏紙の使用、データでの資料配布、データ保管場所を共有するなどして、節約に努めていく。

●水田活用直接支払交付金

問 令和6年度のWCS用稲・牧草作付面積と交付金額は。

答 326ha・2億6,136万円（WCS）、83ha・2,914万円（牧草）。

問 WCS不適合面積と金額は。

答 17ha・1,384万円。

（意見） 飼料や除草剤も高騰している中、検査に関しては他の自治体の例も参考にしながら、農家に寄り添いながらも適切な検査体制を。

経済効果。業務効率化を考慮した政策の推進を



ほかもら ひとし
外村 仁議員



(一般質問の様子)

●放置竹林や森林について

問 森林環境譲与税の受け入れ金額及び活用状況は。

答 受入れ金額は令和元年度から6年度までの総額3,960万9千円、活用状況は森林所有者の森林管理に対する意向調査の経費や木工教室等の木育活動事業など複数の事業等に充当している。令和7年3月末現在の基金積立額は2,485万9,515円となっている。

問 ウッドチップの貸し出しはできないか。

答 森林・里山の保全活動に有効であると考えられるが、現在のところ町民の方から機材の貸し出し等に関する相談をいただいていないため購入の予定はない。

●デジタル対応について

問 12月頃までに運用開始と答弁いただいたコンビニ等における証明書

等の自動交付について進捗状況は。
答 準備を進めているが当初予定よりも期間を要したため、開始時期は令和8年3月中旬になる予定。

●町内施設関連について

問 町内施設を利用したスポーツ大会等の補助について、本町への経済効果を試算し、経済効果に見合う補助額に増額等は可能か。

答 現状の補助金の支出を基本に、地域振興の観点や民間事業者への経済波及効果を総合的に見極めながら適切な支援のあり方を検討していく必要があると認識している。

問 総合運動公園のサッカー広場を人工芝にできないか。

答 財源確保や環境面の問題、施設利用者や関係団体のご意見を総合的に判断し調査研究していく。



▲高原町総合運動公園

丸山町長の所信表明を受けて



ぬくみず よしあき
温水 宜昭議員



(一般質問の様子)

●高原病院の役割検証と方向性について

問 医師確保について。

答 令和7年11月17日鹿児島大学を訪問し、次年度の非常勤医師3名の派遣確約や宮崎大学や県立宮崎病院へも12月訪問予定で、医師派遣を促す仕組みの構築を図る。

問 経営強化プランと実際の運用との整合性と将来への展望は。

答 経常損益実績値は、令和6年度計画値より2,792万2千円の改善が図られたが、計画値は一般会計の2億円と国保調整交付金500万が繰入れ設定の為、整合性がとれていない。しかし、公立病院の果たす役割は新型コロナウイルス感染症が5類引き下げ前と変わらず、急激な物価高や人件費の上昇に診療報酬単価が追いついていない状況にある。令和8年度の診療報酬改定や今後のインフレ状況等を考慮し、令和10年

度以降も収支計画の作成や第三者を交えた評価委員会設立、実施に向けた検討を進めていきたい。

●教育環境の充実と次世代の育成について

問 新校舎建設と高原小学校改修工事との整合性は。

答 小中一貫教育のメリットを最大限に活かし、施設一体型の学校を早期にかつ慎重に検討していく必要があると考える。

問 高原小中学校施設整備事業基本計画の有効性は。

答 有効に活用する予定であるが、児童生徒の推移や財政状況を踏まえ、早期かつ慎重に検討する必要がある。

●防災機能を充実させた庁舎の検討について

問 防災機能を充実させた具体的な検討方法は。

答 公共施設検討委員会での協議内容を精査し、新校舎建設と並行して早期に方向性を定める必要がある。

問 耐震補強されていない庁舎への向き合い方は。

答 危機管理上の問題として厳しく認識し、庁舎建設に向けての検討を早急に進める。

公共団体の消費税について



いわもと れいこ
岩元 礼子議員



(一般質問の様子)

●公共団体の消費税・インボイスの対応について

問 各会計の消費税の申告について。

答 各会計の消費税申告の必要性を確認し、申告業務については各担当課において行っている。一般会計は消費税の申告義務はない。特別会計は租税、補助金の対価性のない不課税収入を恒常的に財源としており、課税売上高において1,000万円以下であることから消費税の納税義務が免除されている。

問 インボイスの対応について。

答 一般会計、病院事業会計、水道事業会計、農業集落排水事業会計においては、適格請求書発行事業所として登録を行っており、インボイスの発行は出来る。施設利用料、ごみ袋販売料については一般会計により請求書、領収書で対応。水道事業においても使用量のお知らせ等で対応している。

●台湾企業誘致について

問 高原町の強みを生かし台湾との絆が強い町長がトップセールス等を行い台湾企業誘致をしてはどうか。

答 宮崎県議会議員時代より台湾と宮崎県との絆を深めて活動に尽力してきた。これまで築いてきた関係性をさらに深め、企業誘致及び観光誘致を含め取り組んでいきたい。

●体育館の空調設置について

問 避難所、地域活動、熱中症対策としての空調の必要性は。

答 熱中症対策としての空調設置の必要性は非常に高い。しかし、経費が非常に大きくなるので慎重に検討をしていく。

●防災について

問 高原町独自の防災ネットワークが必要ではないか。

答 本年7月末で、本町の防災士の登録者は42名、既存の宮崎県防災ネットワークに加入している。

●重機ボランティアの必要性

問 重機を扱えるボランティアの人材を募り災害時の支援の必要性はないか。

答 重機の操縦は危険を伴うと共に技術が必要であるから想定はしていない。

施政方針と総合運動公園について



すえなが みつる
末永 充議員



(一般質問の様子)

●防災・危機管理

問 総合防災訓練で、公助としての課題は。

答 民間企業等との災害応援協定締結を進め、職員の各種研修等受講しスキルアップを行う。

問 今後、災害復旧等に対応できる技術者はいるのか。

答 現在は、全庁で対応しているが、大規模災害が発生した場合には何らかの対応を取る。



▲令和7年11月16日 高原町防災訓練の様子

●幹線水路と支線水路の整備

問 高千穂用水路は密集市街地で、激しく洗掘しており水路改修が必要である。国営事業にて検討するべきでは。

答 整備の必要性・緊急性を強く要望し、早期の事業着工につながるように取り組む。

●役場組織の見直し

問 技術職員の技術の向上をどう進めるか。

答 高等学校等へ、リクルート活動を行い、土木職確保に努める。

●総合運動公園の施設活用

問 全国大会等が誘致できる広場である。PRしていくには。

答 令和9年に国スポのデモンストレーションスポーツとして、健幸増進グラウンドゴルフも行う予定であり、利用促進に努める。

問 「目の届く公園」づくりにするには。

答 シニア世代やボランティアの方々の参画により、健康づくりや社会参加に加え、管理体制を補完していく。

問 放送施設整備がなく、トイレ、水道施設も少ない。環境整備する考えは。

答 県の補助金制度等を活用し、施設改善を図り、観光・商工業との連携を強め、地域活性化に努める。

教育行政と病院事業



こおりやま さだとし
郡山 貞利議員



(一般質問の様子)

●学校新校舎建設について

問 新校舎建設は児童生徒数の将来推計を踏まえたものでなければならぬと考えるが、町長の考えは。

答 施設一体型の小中一貫校を目指し、児童生徒数の推移や財政状況を踏まえ、早期にかつ慎重に検討する必要があると考える。

●教育と地方創生について

問 教育の充実を図り魅力ある町として、教育の力で人口減少を食い止める、優秀な人材を育てるといった考えは。新校舎建設というハード面の整備のみではなく、内容や質についてはどのように考えているか。

答 将来の高原町を担う子供たちが、社会を生き抜く力を小学校、中学校で身に付け、さらにその先の高校、大学、就職などの将来に向けた幅広い選択肢を持つことが出来るように学力の向上は必要不可欠であると考え。町としてはハード面での整備

だけではなく、子供たちの学力向上に資する政策も必要であると考えている。

●病院事業の未処理欠損金の取扱いについて

問 病院経営のみの改善策だけでは赤字の解消は厳しいと考える。一般会計の病院への繰出金についてどのように考えているか。

答 現在の人件費や物価高を考慮すると、病院のみの努力で改善できるレベルを超えていると考える。経営改革は引き続き行い、地方公営企業法第17条の2の規定を十分考慮し、今後の繰出額について検討したいと考えている。

●病院事業の財源確保について

問 病院の収益は、医業収益と他会計負担金等で賄っているが、ふるさと納税の項目に「地域医療に対する寄付」を追加し、町外の方にも本町の地域医療を支えていただく仕組みを取り入れる考えは。

答 今後関係課と協議し、可能であればそのような取組を行いたいと考えている。

議会の動き

令和7年10月1日～12月31日まで



令和7年12月22日(月)

◇議員報酬について、町長への申し入れを行いました。

議会の在り方
検討特別委員会
町長へ申し入れ



令和7年10月21日(火)～23日(木)

◇大分県津久見市、高知県津野町、梶原町の行政調査を行いました。

総務経済常任委員会
行政調査



令和7年11月11日(火)～13日(木)

◇長野県信濃町の行政調査を行いました。

文教厚生常任委員会
行政調査

10月	1日	子牛品評会
	8日	文教厚生常任委員会
	9日	県町村議会議長会議員大会
	21日 23日	総務経済常任委員会行政調査
11月		議会運営委員会
	4日	全員協議会
		議会の在り方検討特別委員会
	5日	県町村議会議長会幹部議員研修会
	6日	子牛品評会
	7日	臨時会
	11日 13日	文教厚生常任委員会行政調査
12月	25日	議会運営委員会
	26日	県町村議会議長会広報研修会
		全員協議会
	28日	議会の在り方検討特別委員会
	2日	子牛品評会
12月	3日 9日	定例会
	16日	議会の在り方検討特別委員会

※その他、議長については議長用務があります。

追跡! Q&A
一般質問



議員が行った一般質問が、町政にどう反映されているのか。事業に結びついたものを議会だより編集委員会で選びました。

令和5年 6月定例会 末永 充議員

Q: 高千穂用水路は、土砂崩壊防止の改良工事が必要。対策は。

A: 町が主体となって協議を重ね、国や県と取り組む。

令和6年度

高原高千穂土地改良区の幹線水路の構想策定調査及び各種基礎調査を実施し、実施設計の前段となる基本計画を策定
事業費550万円。

ご案内

3月定例会は **3月4日(水)～** (質問者数により日程が決まります。)

本会議は午前10時開会 ※請願・陳情を出される方は2月24日(火)までにご提出下さい。

詳細は町公式ホームページにて
高原町議会事務局 ☎42-5138

YouTubeにてライブ配信をしております。
チャンネル登録をお願いします。



議会を傍聴
しませんか?

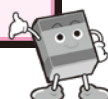
編集後記

新年明けましておめでとうございます。皆様健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。「はたちの集い」に参加させて頂きました。逞しく成長された若者の姿を拝見しながら、私達も負けていられないと思ったところでした。

郡山 貞利



【編集委員】西嶋 陽代 岩元 礼子 山下 香織 郡山 貞利





狹野
神楽



毎年12月の第1土曜日 19時頃～

高原の神舞

国指定重要無形民俗文化財



川
被
神
楽



毎年12月の第2土曜日 19時頃～

GOOD SUN Flower shop

□営業時間／月～土 10:00～18:00
日 9:00～17:00

□定休日／木曜日(不定休) ※水曜日は早く閉める日があります。
□住 所／高原町西麓489-25(高原駅前)
□電 話／47-0504

※1本からでも購入できます。見るだけでもお気軽にご来店ください。お花で癒やされましょう♪



山回 日向子さん

おひるごはんや ちさと

□営業時間／11:00～14:00
□定休日／日曜日(不定休)

□住 所／高原町大字蒲牟田988-69
□電 話／42-4904

※ご予約はお電話にて承っております。
(座席に限りがございますのでお先にご連絡頂けると幸いです。)



坂元 祐子さん

移住者の方へインタビュー



アジサワ / ブユキ

藤澤延行さん・すずみさん(南狭野区)

美しい山と自然にひかれ移住してきました。
この土地に合う庭づくりを楽しんでいます。

